

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和6年11月22日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和6年12月25日（水）
午前9時30分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

静岡県の観光動向と取組	1
	(伊豆観光局)

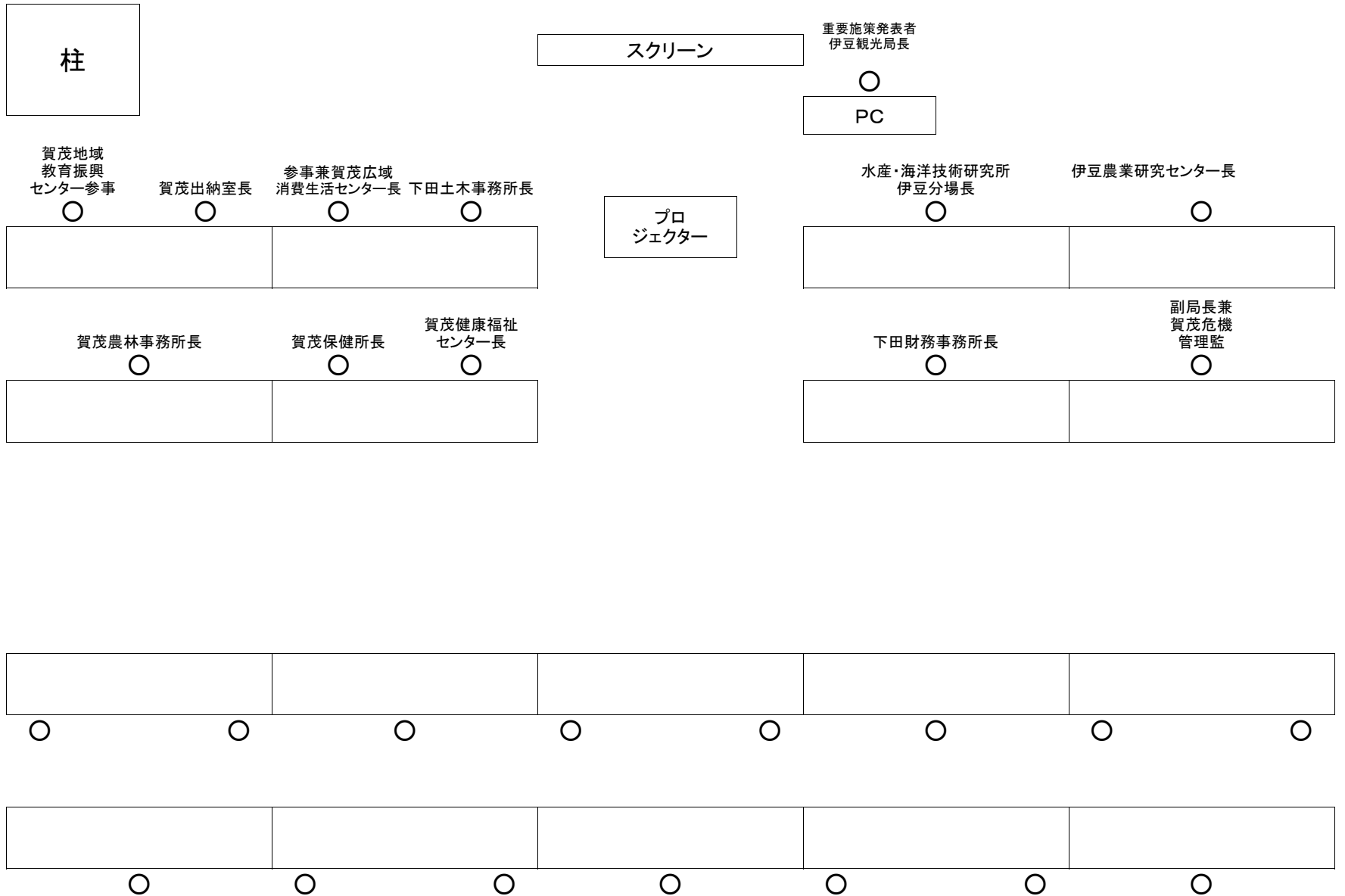
◎令和6年12月の行事予定

行事予定表	14
日本のシンボル！ 富士山講座を開催します！！	16
	(賀茂地域局)
令和6年度静岡県地域防災訓練の実施	18
	(賀茂地域局)
静岡県賀茂健康福祉センター広報誌「賀茂通信(第77号)」の発行について	21
	(賀茂健康福祉センター)
障害者週間街頭キャンペーンの実施について	26
	(賀茂健康福祉センター)
令和6年度賀茂圏域歯科会議	27
	(賀茂健康福祉センター)
園児がフラワーアレンジメントを体験	28
	(賀茂農林事務所)
年末年始における道路工事の抑制について	29
	(下田土木事務所)
消費者被害防止月間 街頭キャンペーン	32
	(賀茂広域消費生活センター)

定例記者懇談会構成員名簿

	役職名	氏名
1	賀茂地域局長	しらとり みちひろ 白鳥 満啓
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	やまなし よしゆき 山梨 義之
3	伊豆観光局長	いちかわ けん 市川 顯
4	下田財務事務所長	かみや あきよし 神谷 明良
5	賀茂健康福祉センター所長	すずき ふじお 鈴木 藤生
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	ふかの ちえこ 深野 智恵子
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	ばば ふじお 馬場 富二夫
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	わしやま ひろふみ 鷲山 裕史
10	下田土木事務所長	さとう まさふみ 佐藤 雅史
11	賀茂広域消費生活センター所長	くらしま ひろあき 倉島 浩彰
12	賀茂出納室長	まつなが としの 松永 俊乃
13	賀茂地域教育振興センター参事	つちや かずみ 土屋 一巳
14	賀茂地域局次長兼地域課長	しらつち たつお 白土 達夫
15	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき かなめ 鈴木 要

賀茂地域定例記者懇談会 座席表 (下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)



出入口

静岡県観光動向と取組

静岡県東部地域局 伊豆観光局

伊豆半島の概況

構成市町

【7市6町】

沼津市、熱海市、三島市、伊東市、下田市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町

項目	伊豆半島	全 県
対象市町	13市町	35市町
面積	1,545km ² (20%)	7,777km ²
人口	55万人(16%)	350万人
総生産 (R1)	2兆2,000億円(12%)	17兆8,000億円
うち宿泊・飲食	1,200億円(32%)	3,800億円
旅館・ホテル・簡易宿泊所数 (R5)	2,995軒(72%)	4,154軒
観光交流客数 (R5)	3,900万人(28%)	1億3,960万人
うち宿泊客数	1,021万人(55%)	1,867万人



- ・伊豆半島の構成市町は7市6町
- ・面積は静岡県全体の約20%、人口は静岡県全体の約16%
- ・首都圏から近く、観光客も多い
- ・旅館・ホテル・簡易宿泊所数は、静岡県全体の約72%を占める

静岡県観光の動向



静岡県スポーツ・文化観光部 観光交流局 観光政策課調

○観光交流客数、宿泊客数ともに、コロナ禍前の令和元年度と比べ約95%と完全には回復していない。

- ・令和5年度の観光交流客数は1億3,960万人、宿泊客数は1,867万人
- ・観光交流客数、宿泊客数ともに、コロナ禍前の令和元年度比約95%と、完全には回復していない

伊豆半島の観光の動向



静岡県スポーツ・文化観光部 観光交流局 観光政策課調

- 令和2年度には、観光交流客数、宿泊客数ともに新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、大幅に減少した。
- 令和5年度の観光交流客数、宿泊客数は、コロナ前の令和元年度と比べ回復が鈍い。

- ・令和5年度の伊豆地域の観光交流客数は3,900万人、宿泊客数は1,021万人
- ・静岡県全体の数値と同様、観光交流客数、宿泊客数ともに、コロナ禍前の令和元年度と比べ回復が鈍い

賀茂地域の観光の動向



静岡県スポーツ・文化観光部 観光交流局 観光政策課調

○令和2年度には、観光交流客数、宿泊客数ともに新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、大幅に減少した。

○賀茂地域はさらに、観光交流客数、宿泊客数ともに、コロナ前と比較して回復が鈍い。

- ・令和5年度の賀茂地域の観光交流客数は615万人、宿泊客数は207万人
- ・賀茂地域はさらに、観光交流客数、宿泊客数ともに、コロナ禍前と比較して回復が鈍い

県内の宿泊施設

令和5年 宿泊施設の客室稼働率（観光庁 宿泊旅行統計調査より）

静岡県：49.9%（全国33位）、全国：57.0%



全国的に見ても、客室稼働率が低い

【要因】

- 7割超の企業で**人手不足**となっている
- 要因として①**低賃金**、②**休日が少ない**、③**不安定雇用**のほか、「中抜け」と言われる特殊な勤務形態や拘束時間の長さなどが挙げられる。
- 伊豆半島の宿泊施設の立地が、温泉やリゾート地であり都会的な利便性に欠け、民間の賃貸住宅も少なく社員寮も**老朽化が進んでいる**

【県内の宿泊施設の状況】

- ・令和5年度の宿泊施設客室稼働率は49.9%で、全国33位の数字。（全国：57%）
- ・全国的にみても、客室稼働率が低い

【要因】

- ・7割超の企業で人手不足となっている
- ・①低賃金、②休日が少ない、③不安定雇用のほか、特殊な勤務形態や拘束時間の長さ
- ・社員寮不足や老朽化

インバウンドの動向

静岡県外国人延べ宿泊者数推移（月別） 出典：静岡県観光協会



○最新のインバウンドの月別状況を見ると、日本全体では過去最高値を更新しているが、本県は全国に比べ回復が遅れている。

【インバウンドの動向】

- ・最新のインバウンド月別状況を見ると、日本全体では過去最高を更新しているが、静岡県は全国に比べ回復が遅れている

令和6年 夏季期間中の海水浴客数の動向

夏季期間中の海水浴客数

地域	令和元年	令和5年	令和6年	前年比	令和元年比
全県	1,359,530	927,794	766,858	82.7%	56.4%
下田市	413,310	266,660	206,210	77.3%	49.9%
東伊豆町	15,545	17,194	14,966	87.0%	96.3%
河津町	29,047	22,154	19,794	89.3%	68.1%
南伊豆町	51,133	45,355	43,830	96.6%	85.7%
松崎町	47,042	50,573	36,061	71.3%	76.7%
西伊豆町	30,570	48,602	20,654	42.5%	67.6%

夏季期間：7月1日～8月31日
海水浴場：55か所／16市町



静岡県スポーツ・文化観光部 観光交流局 観光政策課調

- 連日の猛暑や南海トラフ地震臨時情報発令の影響で外出控えが起こり、前年比**82.7%**、令和元年比**56.4%**にとどまる。
- 夏の高温化、少子化、ライフスタイルの変化も影響

【海水浴場の状況】

令和6年の夏季期間は、連日の猛暑や南海トラフ地震臨時情報発令の影響で前年度比82.7%、令和元年比56.4%の76万人にとどまる

・夏の高温化、少子化、ライフスタイルの変化も影響していると考えられる

課題と対応施策

課題	取組
①回復途上にある観光需要の喚起	平日旅行需要の喚起 →「行くなら、今なの！静岡トク旅」
②宿泊施設稼働率の回復	人手不足の解消、業務効率化 →「宿泊業の経営基盤強化事業費助成」
③インバウンド需要の回復	インバウンド観光の課題解決支援 →「SHIZUOKA INBOUND TOURISM INNOVATION 2024」
④海水浴客の減少	海水浴に代わるマリレジャー、アクティビティの可能性 →伊豆半島の沿岸利用状況を調査

- ・このような状況から、これらの課題が挙げられる
- ・課題に対して、県観光交流局、伊豆観光局では、次のような取組を実施している

①「行くなら、今なの！静岡トク旅」

概要

- 平日の旅行需要を喚起するとともに、県内周遊・滞在を促進
- 既存事業を組み合わせ、統一的に情報発信することで、事業効果を最大化



項目	内容
泊まって巡ってしず旅スタンプラリー (11月5日～12月20日)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光アプリ「TIPS」を活用したデジタルスタンプラリー ・宿泊施設、観光施設が対象 (宿泊施設のスタンプ獲得は平日限定) ・2,000名に5,000円宿泊券ほか
団体旅行需要の底上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・要件を満たした団体旅行のバス代支援1台30,000円 (県内宿泊、平日2日以上での団体旅行 など)
富士山静岡空港×レンタカーキャンペーン	対象：富士山静岡空港を往復利用 支援：3,000円分の商品券 (空港で利用可能)
アニメ「ゆるキャン△」モデル地の周遊促進	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル地を巡るデジタルスタンプラリー ・パネル展の開催 (静岡空港、大井川鐵道 新金谷駅)
インバウンドの回復に向けた集中的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・海外OTAサイトを活用した情報発信 ・開港15周年にあわせた割引キャンペーン

広報プロモーション

- 本県出身のタレント **なえなの** 氏をアンバサダーに起用
- SNSによるショート動画の配信、WEB動画広告、バナー広告の配信
- ポスター掲出、チラシ配布
- 県の広報媒体による発信



【①行くなら、今なの！静岡トク旅】

- ・平日の旅行需要を喚起するとともに、県内周遊・滞在を促進
- ・既存事業を組み合わせ、統一的に情報発信することで、事業効果を最大化
- ・広報プロモーションとして、本県出身のタレント「なえなの」氏をアンバサダーに起用
- ・各種媒体での情報発信を行う

②宿泊業の経営力基盤強化事業費助成

事業内容

○デジタル技術の導入による業務効率化や生産性の向上、社員寮の整備に対する支援制度

対象者：宿泊事業者等

補助率：補助対象経費の1/4を上限（市町が補助する額と同額以内）

区分	内容
業務効率化 生産性向上	デジタル技術導入による業務効率化・生産性向上に向けた取組に対する助成 ・対象：配膳、お掃除ロボット、スマートチェックインシステムの導入 ほか ・上限：750千円/施設
従業員の住環境 の改善	社員寮の整備に対する助成 ・対象：従業員宿泊施設の更新・改修 ・上限：①更新：2,000千円/戸（最大10戸/件） ※複数事業者が共同で更新を行う場合は最大15戸/件 ②改修：250千円/戸（最大10戸/件）

導入事例

【業務効率化・生産性向上】

●ホテル伊豆急

「翻訳ディスプレイの導入」

- ・TOPPAN社製の翻訳ディスプレイを導入
- ・会話を英語や中国語など13言語に瞬時に変換し映し出すことで円滑なフロント業務を目指す

年間0.31人工の補充が可能



【従業員の住環境の改善】

●ヴィラくれたけ

「従業員宿泊施設の改修」

- ・現状、共同トイレ・浴場となっている部屋を改修し、各部屋にトイレとシャワーブースを設置
- ・寮内にWi-Fi環境を整備

従業員の居住性を向上

【②宿泊業の経営力基盤強化事業費助成】

- ・デジタル技術の導入による業務効率化や生産性の向上、社員寮の整備に対する支援制度
- ・宿泊事業者を対象とし、補助対象経費の4分の1を補助
- ・事例として、ホテル伊豆急では「翻訳ディスプレイの導入」、ヴィラくれたけでは「従業員宿泊施設の改修」を行っている。

③SHIZUOKA INBOUND TOURISM INNOVATION 2024

事業内容

○インバウンド観光客に関わる様々な課題解決に取り組むため、(株)静岡銀行及びCreww(株)と連携し、県内8自治体とスタートアップ企業のアイデアをマッチングするプロジェクト

※Creww(株)・・・8,000社を超えるスタートアップとの関係を有し、企業・自治体のオープンイノベーションをサポート

参加自治体：島田市、御殿場市、袋井市、下田市、湖西市、東伊豆町、川根本町、静岡県



項目	内容
自治体のインバウンド課題	体験コンテンツの開発、周遊の促進、2次交通の改善、デジタル観光案内 等
流れ	<p>スタートアップからのエントリーを募集</p> <p>↓</p> <p>応募のあったスタートアップ複数社に対して、県内自治体側が書類審査</p> <p>↓</p> <p>スタートアップとのマッチング</p> <p>↓</p> <p>県内自治体×スタートアップによる実証実験を実施</p> <p>↓</p> <p>実証実験に関する成果発表を実施 (3月予定)</p>
募集サイトURL	https://growth.creww.me/fea744e4-7b11-11ef-88a5-e1736a241a51.html

○自治体の課題（賀茂地域）

【下田市】

- ・デジタル観光ガイド
- ・快適な交通ネットワーク創出
- ・市有施設のDX化

【東伊豆町】

- ・快適な街歩き観光の促進
- ・旅マエ情報の発信
- ・食と交通の利便さ提供

【③SHIZUOKA INBOUND TOURISM INNOVATION 2024】

- ・インバウンド観光客に関わる様々な課題解決に取り組むため、(株)静岡銀行、Creww(株)と連携し、県内8自治体とスタートアップ企業のアイデアをマッチングするプロジェクト
- ・体験コンテンツの開発や周遊促進、2次交通の改善、デジタル観光案内などの課題解決に取り組む
- ・3月に、実証実験に関する成果発表を実施予定

④伊豆半島の沿岸利用状況調査（伊豆観光局）

事業背景・目的

- 伊豆半島は熱海市から沼津市までの319kmに及ぶ海岸線を有し、ジオサイトをはじめとする自然景観に恵まれている。
- 港湾(8)・漁港(37)・海の駅(7)、海水浴場(43)・民間マリーナ(23)等、利用形態が多様
- 海岸線利用の現状調査並びに、市町、漁業協同組合、事業者へのヒアリングによる課題の洗い出しを行い、マリンレジャーの可能性、ジオパークの活用及び交流人口拡大の方策を検討する。

課題・特徴的な取組

【課題】

- 行政施策における位置づけの明確化
- 漁業とのすみ分け（利用エリア・ルールづくり）
- 海利用のマナー啓発と安全担保の体制づくり
- サイトマネジメント・サービス提供体制の構築
- 海に親しむ文化と来訪者を歓迎する機運の醸成
- 駐車場対策



【特徴的な取組】

- 漁業協同組合、ダイビング事業者間でのルールづくり（沼津市大瀬崎）
- 漁業協同組合によるダイビング施設の運営（沼津市・平沢マリンセンター）
- アプリでの釣り場・駐車場の予約システム（西伊豆町・海釣りGO）
- アウトドア・自然体験の情報発信（下田市・し〜もん）
- 地元の小学生を対象とした自然体験教室（伊東市）

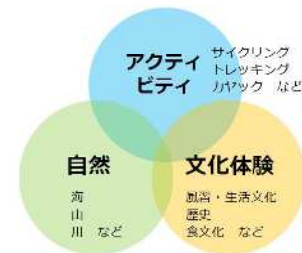
沿岸部の活用を図るため、地域の特性に応じた活動フィールドの整備、拡充とあわせて、これらの機能を具備した体制をつくり、ツーリズムにつなげていく必要がある

（参考）アドベンチャーツーリズム

【定義】

アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成される旅行

旅行者が地域独自の自然やありのままの文化を体験し、自己変革・成長の実現を目的とすることが特徴



【④伊豆半島の沿岸利用状況調査】伊豆観光局

- ・伊豆半島は319kmに及ぶ海岸線を有し、ジオサイトをはじめとする自然景観に恵まれている
- ・港湾、漁港、海の駅、海水浴場、民間マリーナ等、利用形態が多様
- ・海岸線利用の現状調査並びに、市町、漁業協同組合、事業者へのヒアリングによる課題の洗い出しを行い、マリンレジャーの可能性、ジオパークの活用及び交流人口拡大の方策を検討する
- ・調査の結果、上記のような課題や先進的な取組が見つかった
- ・沿岸部の活用を図るため、地域の特性に応じた活動フィールドの整備、拡充とあわせて、これらの機能を具備した体制をつくり、ツーリズムにつなげていく必要がある

行事予定表（令和6年12月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	日	静岡県地域防災訓練	滞納整理強化月間 (～12/31)	賀茂通信（第77号）発行		
2	月					
3	火	防災講座 9:15-11:00 浜崎小学校		障害者週間（12/3～12/9） 障害者週間街頭キャンペーン 10:00-11:00 下田とうきゅう 15:00-16:00 マックスパリュ松崎店		
4	水	防災講座 13:00-16:00 伊豆海認定こども園				
5	木					
6	金				フラワーアレンジメント体験 9:00～ 仁科認定こども園 10:00～ 伊豆海認定こども園	
7	土					
8	日					
9	月					
10	火			賀茂圏域歯科会議 18:00-19:30 賀茂キャンパス		
11	水					
12	木					
13	金					
14	土	富士山講座 13:30-15:00 賀茂キャンパス				
15	日					
16	月					
17	火					
18	水					
19	木				フラワーアレンジメント体験 10:00～ 聖和保育園	
20	金					
21	土					
22	日	伊豆半島 住む人・来る人 感謝祭in 伊豆高原				
23	月					
24	火					
25	水	定例記者懇談会 9:30～ 賀茂キャンパス				
26	木					
27	金					
28	土					年末年始道路工事抑制期間 12/28～1/5
29	日					
30	月					
31	火					

行事予定表（令和6年12月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	日					行くなら、今なの！静岡トク旅 (11/5～12/20)
2	月					
3	火					
4	水			消費者被害防止街頭キャンペーン 11:00～マックスバリュ稲取店		
5	木			消費者被害防止街頭キャンペーン 10:00～マックスバリュ下賀茂店		
6	金					
7	土					
8	日					伊豆トレイルジャーニー2024 松崎新港～修善寺総合会館
9	月					
10	火					
11	水			消費者被害防止街頭キャンペーン 10:00～マックスバリュ松崎店		
12	木					
13	金					
14	土					
15	日					
16	月					
17	火					
18	水					
19	木					
20	金					
21	土					
22	日					
23	月					
24	火					
25	水					
26	木					
27	金					
28	土					
29	日					
30	月					
31	火					

令和6年11月22日

定例記者懇談会資料

日本のシンボル！ 富士山講座を開催します！！

(賀茂地域局)

(要旨)

静岡県富士山世界遺産センターと連携し、住民向けの富士山講座を令和6年12月14日(土)に賀茂キャンパスで実施する。

(概要)

日時	令和6年12月14日(土) 13:30~15:00
会場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。 ※駐車場に限りがあるため、公共交通機関の利用・車の乗り合わせに御協力願います。
内容	講師：静岡県富士山世界遺産センター 長嶋 昌和 氏 演題：「世界遺産の富士山を学ぼう」
参加費	無料
申込方法	右記QR：  電話：0558-24-2202 メール：kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp (氏名、職業、電話番号、参加人数の記入をお願いします。) いずれかの方法でお申込みください。
問合先	賀茂地域局地域課 電話：0558-24-2202 共催：賀茂キャンパス活用推進委員会 静岡県富士山世界遺産センター 静岡県賀茂地域局

担当：地域課 菅尾
電話番号：0558-24-2202

参加費
無料

日本のシンボル!

富士山講座

を開催します!!

12月14日土 13:30 ~ 15:00

静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス (下田市中 531-1)

講師

静岡県富士山世界遺産センター 長嶋 昌和氏



講座内容

- ・富士山の成り立ち
- ・伊豆半島や下田と富士山のつながり
- ・「世界遺産」という考え方が広まるきっかけとなった出来事
- ・世界各国の世界遺産状況 など

申込方法

QR:



小学生でもわかりやすい内容となっています!
親子で一緒に学びませんか?

電話: 0558-24-2202 (静岡県賀茂地域局)

メール: kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

いずれかの方法でお申し込みください。



お問合せ 静岡県賀茂地域局 TEL:0558-24-2202

共催: 賀茂キャンパス活用推進委員会、静岡県富士山世界遺産センター、静岡県賀茂地域局

賀茂地域における地域防災訓練

(賀茂地域局)

1 目的

県では、昭和58年度から毎年、「地域の特性に応じた防災体制の確立」と「県民の防災意識の高揚による減災の実現」を目的とし、自主防災組織を主体とした地域防災訓練を実施している。

今年度、賀茂地域1市5町では、188の自主防災組織が独自の訓練を実施し、地域防災力の向上を図る。

2 統一実施日

令和6年12月1日（日） 地域防災の日（12月の第1日曜日）

3 訓練想定

各地域の特性に応じ、地震・津波災害などによる被害等のリスクを想定した初動訓練を実施する。

4 実施主体等

- | | |
|-----------|--------------|
| (1) 実施主体 | 自主防災組織、消防団等 |
| (2) 協力機関等 | 県、市町、警察、自衛隊等 |

5 特徴のある訓練等

- | | |
|------------|-------|
| (1) 参加予定人数 | 別紙1参照 |
| (2) 訓練内容 | 別紙2参照 |

6 訓練中止の決定

荒天等の場合は、地域の皆様の安全確保を最優先として、市町ごとの状況判断に基づき対応する。

担当：危機管理課 向島
連絡先：0558-24-2004

賀茂地域における地域防災訓練 参加予定数 (11/19時点)

市町名	下田市		東伊豆町		河津町		南伊豆町		松崎町		西伊豆町		合 計	
区 分	団体数	人 数	団体数	人 数	団体数	人 数	団体数	人 数	団体数	人 数	団体数	人 数	団体数	人 数
1 自主防災組織	47	6,173	11	800	23	2,000	34	2,600	35	2,306	38	1,700	188	15,579
うち中学生、高校生の参加者	—	(385)	—	(110)	—	(200)	—	(140)	—		—	(6)	—	(841)
うち65歳以上の参加者	—	(2359)	—	(300)	—	(1000)	—		—		—	(1200)	—	(4859)
うち外国人の参加者	—	(13)	—		—		—		—		—	(4)	—	(17)
2 消防団等	8	113	9	60	1	120	1	130	1	60	7	212	27	695
3 市町	1	60	1	4	1	50	1	35	1	90	1	115	6	354
4 警察									1				1	
5 自衛隊	1	10			1	10							2	20
6 防災士	—		—		—		—		—	2	—		—	2
7 地域防災指導員	人数											60		60
	箇所数	—		—		—		—		—		38	—	38
合 計	56	6,356	21	864	27	2,180	36	2,765	38	2,458	46	2,087	224	16,710

特徴のある訓練

	実施日	時間	市町	自主 防災会	会場	参加 予定 人数	訓練内容(予定)
①	12月1日	9時00分 ～ 12時00分	下田市	下大沢	下大沢集荷所 下大沢ヘリポート	45人	<p>【主な訓練内容】 ・安否確認、放水訓練(可搬ポンプ)、炊出し訓練 ・ヘリ着陸誘導訓練 ※自衛隊ヘリを使用</p> <p>【取材のポイント】災害時を想定したヘリ着陸誘導訓練</p> <p>【問い合わせ先】 下田市防災安全課 0558-36-4145</p>
②	12月1日	10時15分 ～ 12時00分	東伊豆町	片瀬区	片瀬地区 防災センター	20人	<p>【主な訓練内容】 ・骨折や捻挫を想定した応急手当 ※手当の実演に加え、参加者と一緒に実技を実施</p> <p>【取材のポイント】 看護協会職員から住民への直接指導</p> <p>【問い合わせ先】 東伊豆町防災課 0557-95-1103</p>
③	12月1日	9時00分 ～ 10時00分	河津町	湯ヶ野地区 自主防災会	湯ヶ野公民館	50人	<p>【主な訓練内容】 ・骨折や捻挫を想定した応急手当 ※手当の実演に加え、参加者と一緒に実技を実施</p> <p>【取材のポイント】 看護協会職員から住民への直接指導</p> <p>【問い合わせ先】 河津町防災課 0558-34-1112</p>
④	12月1日	9時00分 ～ 11時00分	河津町	田中地区 自主防災会 下峰地区 自主防災会	河津中学校	200人	<p>【主な訓練内容】 ・自衛隊による応急救護訓練 ・河津中学校グラウンド及び体育館で会場型訓練</p> <p>【取材のポイント】 自衛隊による応急救護</p> <p>【問い合わせ先】 河津町防災課 0558-34-1112</p>
⑤	12月1日	9時00分 ～ 11時00分	南伊豆町	蛇石区	蛇石橋付近	24人	<p>【主な訓練内容】 ・テント設営訓練、初期消火訓練 ・静岡県看護協会による講話と実演 ・非常用トイレ関連商品を配布</p> <p>【取材のポイント】 看護協会職員による応急救護に関する講話と実演</p> <p>【問い合わせ先】 南伊豆町総務課防災室 0558-62-6211</p>
⑥	12月1日	9時00分 ～ 11時00分	南伊豆町	中木区	中木生活改善 センター	80人	<p>【主な訓練内容】 ・避難訓練 ・応急救護に関する講話と実演</p> <p>【取材のポイント】 町保健師による応急救護に関する講話と実演</p> <p>【問い合わせ先】 南伊豆町総務課防災室 0558-62-6211</p>
⑦	12月1日	9時00分 ～ 10時00分	松崎町	池代区	池代農村公園	60人	<p>【主な訓練内容】 ・孤立予想集落におけるヘリコプターによる救援・救助を 想定した着陸訓練 ※県警ヘリを使用</p> <p>【取材のポイント】ヘリコプターの着陸訓練</p> <p>【問い合わせ先】 松崎町総務課消防防災係 0558-42-3963</p>
⑧	12月1日	11時00分 ～ 11時45分	西伊豆町	宇久須区 大田子区	宇久須第1水源 発電機室 大田子区 配水池	30人	<p>【主な訓練内容】 ・水道が利用出来ない場合を想定した給水訓練</p> <p>【取材のポイント】 町民への水の供給訓練</p> <p>【問い合わせ先】 西伊豆町防災課 0558-52-1965</p>

定例記者懇談会資料

静岡県賀茂健康福祉センター広報誌

「賀茂通信（第77号）」の発行について

(賀茂健康福祉センター)

(目的)

賀茂健康福祉センターでは、広報誌「賀茂通信（かもめーる）」を年4回定期発行している。（6月、9月、12月及び3月の各1日付け。発行部数約3,400部。）

「かもめーる」により、センターが行っている業務を分かりやすく紹介することで、業務の目的や内容について御理解をいただき、住民にとって身近で信頼されるセンターとなることを目指している。

市町の協力により、管内の全戸に配付又は回覧するほか、当センターのホームページにも掲載する。

今回、最新号の第77号を12月1日に発行する。

(概要)

第77号の内容は以下のとおり

- 高血圧／行事予定
- 献血／児童相談所長あいさつ
- 在宅療養情報
- 世界エイズデー

担 当 福祉課福祉こども班
連絡先 0558-24-2055

賀茂通信 (かものへ)

静岡県賀茂健康福祉センター
賀茂保健所
賀茂児童相談所
賀茂知的障害者更生相談所

上手な食塩との付き合い方



静岡県の食塩摂取量は？

○目標量
男性 7.5g 未満
女性 6.5g 未満



○現状値
男性 10.8g
女性 9.2g
(令和4年県民健康基礎調査)

目標量より
はるかに多い！

どのくらいの食塩をとっていますか？

静岡県の「ちべるたんと一緒にお塩のとりかたチェック」で
チェックしてみましょう！（右の二次元バーコードでアクセス）



今日からはじめる減塩

かける前にまず味見！
よく噛んで食べることで、
濃い味を足さなくても
よいことに気づきます



栄養成分表示をチェック！
食塩相当量を確認すると気づかないうちに
食塩を多くとっていることが分かります

干物やお酒のおつまみには
要注意！
お酒との相性が良いおつまみには
食塩が多く含まれています



野菜や果物を上手に取り入れよう！
野菜や果物に含まれるカリウムは食塩の
主成分であるナトリウムを排出します



できることから始めてみましょう！

健康福祉関係の月間・記念日など（12～2月）

12月	1月	2月
★世界エイズデー（1日） ★不法投棄撲滅街頭キャンペーン（6日） ★人権週間（4～10日） ★世界人権デー（10日） ★障害者週間（3～9日）	★はたちの献血キャンペーン（1～2月） ★ノロウイルス食中毒防止重点期間（11～1月）	★アレルギーの日（20日）

献血に御協力をお願いします！

知っていますか？献血のこと！

～健康な人が自らの血液を提供するボランティア～

病気の治療や手術等で必要となる輸血のために、県内では毎日約400人の献血者が必要です。医療技術が進歩した現在においても、血液は人工的に造ることができず、長期保存もできません。そのため、善意による献血によって、患者さんが必要とする血液を確保している状況にあります。

近年、10代から40代の献血者が減少しています。献血をしたことがない方も、献血の経験がある方も、この機会に献血をしてみませんか？

輸血用血液の安定確保のため、献血への継続的な御協力をお願いします！

＜全血採血の主な採血基準＞

	1回採血量	男	女
年齢	200mL	16～69歳	
	400mL	17～69歳	18～69歳
体重	200mL	45kg以上	40kg以上
	400mL	50kg以上	
採血間隔	200mL	4週間後から	
	400mL	12週間後から	16週間後から

**お薬を飲んでいても
献血できる場合があります！**
お薬手帳など、服用中の薬がわかるものを持参してください。



静岡県献血イメージキャラクター
「アボちゃん」

※60～64歳までに一度でも献血していれば、69歳まで献血することができます。

※この基準以外にも、病歴や渡航歴、当日の体調等によっては、献血に御協力いただけない場合があります。

【献血基準に関するチャットボット】

治療薬や既往歴などの献血基準を事前に確認できるよう、日本赤十字社が運用しているサービスです。リンク先：https://www.bs.jrc.or.jp/qabot_01/



献血ができる場所

【献血バス】(日時は今後決定)

◎12月

- ・河津町保健福祉センター
- ・下田市民文化会館

◎1月

- ・下田総合庁舎
- ・東伊豆町役場

◎3月

- ・西伊豆町役場
- ・松崎町役場



【献血ルーム】(年末年始除く毎日)

◎献血ルーム・柿田川(駿東郡清水町伏見 58-26) TEL: 055-991-7575

静岡県賀茂保健所 衛生薬務課 TEL: 0558-24-2057

所内各部門の参事・部長より(第2回: 児童相談所長)

賀茂健康福祉センターにはいくつかの課があり、それぞれの担当分野を示す名前がついています。環境課、生活保護課などです。そんな中、「相談課」というちょっと曖昧な名前の課があります。それが私たち児童相談所です。児童相談所はご家庭などからお子さんに関する相談を受けています。また、虐待通告や警察からの通告を受け、お子さんやおうちの方に話を聴くこともしています。近年は、市役所や町役場の児童福祉の担当者さんから助言や情報提供を求められることも増えています。

児童相談所が相談を受けるにあたって、意識しているのは、「こどもの権利」ということです。大人の論理をおしつけられてこどもの安全安心が脅かされていないか、こどもの意見が無視されていないか、意識的に考えるようにしています。

もちろん、大人の意見も聴き、背景を大切に考え、こどもの生活の場である家庭を支援しますが、だからといって、大人の考えを優先するあまりこどもの権利が無視されてはいけなく、その視点を忘れないことが児童相談所の専門性であると言えます。

児童相談所長 渡会 和

在宅療養情報No.15 認知症について考えたことはありますか？
「賀茂1市5町の認知症のガイドブックのご案内」

各市町で、認知症に関する情報を冊子にまとめており、ホームページからダウンロードできます。



認知症について、認知症チェックリスト、相談窓口、認知症サポート医のいる医療機関の紹介など、様々な情報が、記載されています。是非ご一読ください。

地域包括支援センター 各市町に設置されている介護・医療・保健・福祉などの側面から高齢者を支える「総合相談窓口」です。ご相談に対し、専門知識を持った職員が対応してくれます。



- ・下田市地域包括支援センター ☎0558-36-4146 月～金 8:30～17:15
 - ・東伊豆町地域包括支援センター ☎0557-95-1106 月～金 8:30～17:15
 - ・河津町地域包括支援センター ☎0558-34-1938 月～金 8:15～17:00
 - ・南伊豆町地域包括支援センター ☎0558-36-3335 月～金 8:30～17:15
 - ・松崎町地域包括支援センター ☎0558-42-3966 月～金 8:15～17:00
 - ・地域包括支援センターにしいず ☎0558-52-3030 月～金 8:15～17:00
- 下田市役所市民保健課内
東伊豆町役場健康づくり課内
河津町保健福祉センター内
南伊豆町健康福祉センター内
松崎町役場健康福祉課内
西伊豆町福祉センター内
※土日・祝日・年末年始(12/29～1/3) 除く

●問い合わせ先
賀茂地区在宅医療・介護
連携推進支援センター
TEL : 0558-25-3535





12月1日は

世界エイズデー！



令和6年度のキャンペーンテーマ
『U=U 知ることから、もう一度。12月1日は世界エイズデー。』

∴『U=U』とは
Undetectable (検出限界値未満) イコール Untransmittable (HIV感染しない)

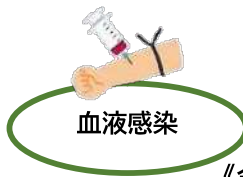
U=U
HIVの新常識

予防することが一番大切です!!!
しかし、もしHIVに感染したとしても
効果的な治療法があり、
周囲の人へのHIV感染を防ぐことができます！

〈エイズってどんな病気？〉

HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染し、
免疫システムが破壊されて起こる病気の総称です。
感染後、徐々に免疫機能が低下し、様々な感染症や悪性腫瘍などを発症します。
指標とされる23種類の病気のうち、いずれかを発症するとエイズと診断されます。

〈感染経路〉



《令和6年度 賀茂保健所検査日程》

おひとりでも悩んでいませんか？

賀茂保健所では
毎月1回HIV検査を行っています！
※検査は匿名・無料で受けられます

検査日	時間
12月5日(木)	午後
1月16日(木)	午前
2月13日(木)	午前
3月19日(水)	午前

予約・相談窓口：賀茂保健所 地域医療課 ☎ 0558-24-2052

エイズは特別な病気ではなく、誰でもかかる可能性がある身近な病気です。

〈自分も感染しない・大切な人にも感染させない〉ために、
エイズについて知ることから始めてみませんか？

いのち輝き、笑顔あふれる社会を。



生きがいと健康づくり
イメージキャラクター
「ちゃっぴー」

静岡県健康福祉部



静岡県賀茂健康福祉センター

〒415-0016 下田市中 531-1 (静岡県下田総合庁舎 4階) 電話 0558-24-2032

ホームページ <https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/fukushicenter/kamokenkofukushi/index.html>

FAX 0558-24-2159

障害者週間街頭キャンペーンの実施について

(賀茂健康福祉センター)

(目的)

12月3日から9日までの「障害者週間」(※)において、障害者に対する県民の正しい理解と認識を深めつつ、障害者の福祉増進を図るため、関係団体と協力し、広範な啓発活動(街頭キャンペーン)を行う。

※障害者基本法(平成16年6月改正)により、毎年12月3日から9日までの1週間が「障害者週間」と定められている。

(概要)

1 日時・会場

会場	日時	場所
下田市	令和6年12月3日(火) 午前10時から11時まで	東急ストア下田とうきゅう (下田市東本郷1丁目2-1)
松崎町	令和6年12月3日(火) 午後3時から4時まで	マックスバリュ松崎店 (賀茂郡松崎町江奈303-1)

※両会場とも配布物がなくなり次第、終了する。

2 参加人数

両会場で計15名程度

3 主催

静岡県賀茂健康福祉センター・下田市福祉事務所

4 協力団体(予定)

東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、
下田市社会福祉協議会、賀茂郡社会福祉協議会、
あしたば会、あしたば作業所、伊豆つくし学園、さしだ希望の里、
すぎのこ作業所、南伊豆地域生活支援センターふれあい及び東伊豆ワークセンター

5 配布物

障害のある人が働く事業所(就労支援B型事業所等)の通所者が一生懸命、心を込めて手作りした製品

担 当 福祉課 福祉こども班
電話番号 0558-24-2055

令和6年度賀茂圏域歯科会議

(賀茂健康福祉センター)

(目的)

賀茂地域では、歯周疾患検診の受診率は県平均より高い¹⁾ものの、歯周病の進行やむし歯の放置等により、特定健診の問診票で「ほとんど噛めない」又は「噛みにくい」と答える人の割合が県平均より高い状況にある²⁾。

子どもの歯科保健については、複数のむし歯をもつ児童とむし歯が1本もない児童の差が目立つことから、家庭環境に左右されない小学校単位で行う集団フッ化物洗口事業の拡大を目指している。また、第4次静岡県健康増進計画の地域別課題で12歳児のむし歯がない者の割合の減少を目標としている。

そこで、賀茂圏域歯科会議を開催し、より多くの住民の健康な歯を守るため、地域の課題を市町や関係団体と共有し、子どもの頃からの歯科教育の充実、働き世代へ歯の健康が損なわれる以前からの検診や定期受診へのアプローチを促進するための具体策について検討を行う。

- 1) 令和5年度歯科保健対策実施状況調査結果より
- 2) 令和3年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書より

(概要)

日 時	令和6年12月10日(火) 午後6時から7時30分まで
会 場	静岡県下田総合庁舎2階 第8会議室 賀茂キャンパス (下田市中531-1)
出 席 者	賀茂歯科医師会、賀茂管内市町の歯科保健医療に関わる職員 及び 賀茂健康福祉センター職員
内 容	賀茂地域の歯科保健事業についての検討、情報提供等

(その他)

- ・取材いただける場合は会議当日の午前中までに御一報ください。

担 当：健康増進課
連絡先：0558-24-2037

令和6年11月22日

記者提供資料

園児がフラワーアレンジメントを体験

(賀茂農林事務所)

(目的)

賀茂地域青年農業士(※1)連絡会が花育活動(※2)の一環として、西伊豆町の認定こども園、松崎町の保育園の園児達にフラワーアレンジメント体験を指導します。体験には東伊豆町で栽培されたカーネーションが活用されます。

この取組は、この地域の特産品を使用することで、地域の農業への関心を高めることを目的にしています。

(概要)

- 1 日 時 令和6年12月6日(金) 午前9時から(仁科認定こども園)
午前10時から(伊豆海認定こども園)
12月19日(木) 午前10時から(聖和保育園)
- 2 場 所 仁科認定こども園(西伊豆町仁科)
伊豆海認定こども園(西伊豆町田子)
聖和保育園(松崎町峰輪)
- 3 内 容 カーネーションについての説明
フラワーアレンジメント体験
- 4 参加者 園児(各20名程度)
賀茂地域青年農業士連絡会員 3名程度

担 当：地域振興課

連絡先：0558-24-2079

※1 青年農業士とは、40歳以下の、一定の農業経験を有し、農村青少年の自主的な組織活動に積極的に参画し、中心的役割を果たしている者又は中心的役割が期待される者
※2 花育活動とは、花や緑に親しみ、育てる機会をとおして、やさしさや美しさを感じる気持ちを育むこと

年末年始における道路工事の抑制について

(下田土木事務所)

(目的)

観光や帰省により、交通量が増加する年末年始において、渋滞の緩和や交通安全の確保のため、以下のとおり主要路線における道路工事の抑制を行う。

(概要)

1 工事抑制期間

令和6年12月28日(土) から 令和7年1月5日(日)まで (9日間)

2 工事の抑制内容

緊急工事を除き、原則として車線規制を伴う道路工事は実施しない。

3 抑制対象路線(別添図参照)

国道135号

国道136号(中島橋交差点から加納交差点の間、雲見太田川橋から宇久須深田交差点の間)

国道414号(下佐ヶ野交差点から箕作交差点の間と天城旧道区間を除く)

県道下佐ヶ野谷津線

県道下田石廊松崎線(日野交差点から新湊橋交差点の間)

県道熱川片瀬線

県道稲取港線

県道下田港線

県道蓮台寺本郷線

県道手石湊線

県道松崎港線

県道稲取停車場線

担 当 維持管理課
電話番号 0558-24-2118

<参考>

対象外の路線
国道136号（中島橋交差点から加納交差点の間、雲見太田川橋から宇久須深田交差点の間を除く）
国道414号（下佐ヶ野交差点から箕作交差点の間と天城旧道区間）
県道下田松崎線
県道下田石廊松崎線（日野交差点から新湊橋交差点の間を除く）
県道須崎柿崎線
県道伊東西伊豆線
県道湯ヶ野松崎線
県道下田南伊豆線
県道南伊豆松崎線
県道波勝崎線
県道仁科峠宇久須線
県道河津下田線

年末年始における道路工事の抑制について(お知らせ)

下田土木事務所では、交通量が増大する年末年始の渋滞対策として、下記内容にて車線規制を伴う道路工事を抑制します。

道路利用者及び道路工事関係者の皆様につきましては、御理解御協力のほどよろしくお願いいたします。

<期間> 令和6年12月28日(土) ~ 令和7年1月5日(日)

<対象路線> (下記赤着色路線)

- ・国道 135号
- ・国道 136号(中島橋交差点から加納交差点の間
雲見太田川橋から宇久須深田交差点の間)
- ・国道 414号(下佐ヶ野交差点から箕作交差点の間と天城旧道区間を除く)
- ・県道 下佐ヶ野谷津線
- ・県道 下田石廊松崎線(日野交差点から新湊橋交差点の間)
- ・県道 熱川片瀬線
- ・県道 稲取港線
- ・県道 下田港線
- ・県道 蓮台寺本郷線
- ・県道 手石湊線
- ・県道 松崎港線
- ・県道 稲取停車場線



※なお、上記内容は天候及び緊急工事(占用工事を含む)などにより変更となる場合がありますのであらかじめ御了承ください。

問い合わせ先
〒415-0016 下田市中531-1
静岡県下田土木事務所
担当:維持管理課
連絡先:0558-24-2118

消費者被害防止月間 街頭キャンペーン

(賀茂広域消費生活センター)

1 要 旨

悪質事業者による消費者被害は、消費者の心の隙間につけ込む手口によるものが多く、特に、年末の慌ただしい時期は心のゆとりがなくなり、消費者被害に巻き込まれることが危惧される。

そのため、12月の「消費者被害防止月間」において、賀茂地域1市5町、当センター及び下田警察署が合同で、消費者被害防止のための街頭キャンペーンを実施し、消費者問題への関心を高めるとともに、困ったことがあれば早期に賀茂広域消費生活センターへ相談するよう呼びかけを行う。

静岡県では毎年12月を「消費者被害防止月間」として、各地でキャンペーンを実施し、消費者問題への関心を高めるとともに消費者被害の未然防止や拡大防止を図っている。

2 実施方法

賀茂広域消費生活センター職員、各市町職員、下田警察署職員が参加し、賀茂地域3カ所でキャンペーンを行う。

3 日時及び場所

日 時	場 所
12月4日(水) 11:00～	マックスバリュ稲取店
12月5日(木) 10:00～	マックスバリュ下賀茂店
12月11日(水) 10:00～	マックスバリュ松崎店

4 内 容

啓発用ティッシュやチラシを配布して消費者被害防止の注意喚起を行う。

担当： 倉島

連絡先： 0558-24-2206